

ほやほや

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.046

平成26年4月発行



日本赤十字社 福井赤十字病院
Japanese Red Cross Society

“新棟”建設! がん診療棟・腎センター(仮称)

安全かつ苦痛の少ない
気管支鏡検査

心臓リハビリテーション

患者満足度調査結果報告

手づくりお手玉で、いきいきリハビリ

小学生 社会科見学

スタッフ紹介シリーズ ~メディカル・セクレタリー&ボイラー室・電気室

簡単!貧血予防レシピ

安全かつ苦痛の少ない 気管支鏡検査

特集



呼吸器科部長 出村 芳樹

「気管支鏡検査を受けたがとても苦しかった」「二度とやりたくない」「いや、気管支鏡検査は苦しいのが当たり前、耐えるしかない」……そんな話をよく聞きます。当院では早くから独自の工夫を凝らして、苦痛の少ない気管支鏡検査を実践、検査を受けた方の大部分からは、「ほとんど苦しくなかった」「一部の方からは「やや苦しかったけれど胃の内視鏡並みだった」と言ってもらっています。熟練したスタッフ（呼吸器内視鏡学会専門医、指導医）を中心に、幾つかの工夫を重ね、それを達成しています。

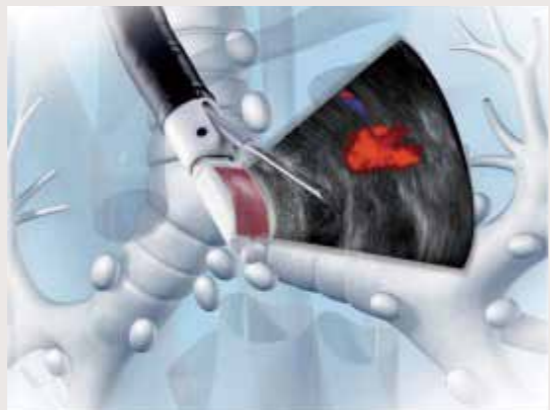
検査前、大抵の患者さんは、緊張されており、それだけでも大変ですが、「大丈夫ですよ」の声掛けとともに検査台に横になっていたとと血圧などのチェックを素早く行い、安定、安全を確認後、静脈麻酔を開始します。ここからは、緊張からも解放され、夢の中へいざなわれます。次に目覚めたら病室のベッドの上、まどろみの中で検査が無事終了したことを

知ります。面倒な前処置や痛いこと、我慢することは何もありません。

肝心の気管支鏡検査内容ですが、当院では以前より、気管支鏡の細さの異なるものを使い分け、診断困難な肺病変を数多く診療してきました。さらに現在では、最新鋭の超音波内視鏡装置により、これまでは手が出せなかった病変に対してもより確実に病変を確認、採取し、最新の遺伝子診断を駆使して最適な治療方法を素早く提供できるよう、万全の設備と体制を整えております。この超音波内視鏡装置は、診断を確実にするだけでなく、病変以外の血管などを避けて細胞などを採取できるので、検査の合併症も大変少なくなっております。

この他にも、通常では見落とすしてしまう肺癌を浮かび上げらせるAFI（蛍光内視鏡）装置や、肺の奥にある病変までの気管支鏡の到達経路、「みちすじ」を自動車のカーナビのように表示することのできるバーチャルナビゲーションシステム

気管支カメラの先端に最新鋭のエコー（超音波）機器を搭載しており、気管支内腔より観察可能です。



気管支の外側にある病変をエコー（超音波）で確認することができ、さらにエコー（超音波）で見ながら、病変部に生検針を刺入して細胞組織を採取することが出来ます。

など、北陸でも2〜3施設でのみ導入されている装置により肺の中の情報をピンポイントで捉えることができ、かつては診断のために手術が必要であった病気を気管支鏡検査にて解決しております。

検査やCT検査の普及により、これまでは発見されなかったような小さい病変や心臓の陰に隠れた病変がCTで発見される機会が増加しております。その病変が何であるのか検査するためには、病変部位から直接細胞を採取する必要があります。当院呼吸器科では、安全、確実、苦しめない気管支鏡検査で、質の高い医療を提供できるよう日々努めておりますので、必要の際には、かかりつけ医もしくは当院呼吸器科にご相談ください。

地域の皆さんのための“新棟”を建設いたします！

がん診療棟・腎センター（仮称）

当院は、この春、新棟の建設に着工しました。新棟では、専門的な診察や治療はもちろん、皆さんがリラックスできる、心身にもやさしい空間を基本にしています。気になる新棟の内容を、少しご紹介いたします。



屋上	庭園
4階	緩和ケア病棟
3階	外来化学療法室 日帰り手術部門
2階	腎臓・泌尿器透析センター
1階	がん診療センター 放射線治療部 緩和ケア外来 看護外来 健康・医療情報室「スマイル」 患者サロン カフェテリア

※名称は仮称です

1階 がん診療センター、放射線治療部、看護外来、緩和ケア外来、健康・医療情報室、患者サロン、カフェテリアなどが入ります。放射線治療部門には、最新鋭の装置が北陸で初めて導入されます。看護外来においては、病気を持ちながら生活を送る患者さん及びその家族の悩みや不安に対し、専門的な知識や技術を用いた看護を提供します。

健康・医療情報室「スマイル」やカフェテリアも1階に配置し、来院されるすべての方が立ち寄りたくなるような、心と身体がリラックスできる「癒し」の時間と空間を提供したいと思っています。

2階 現在の腎臓・泌尿器透析センターを拡充し、腎不全予防から急性期及び慢性期、急性増悪、腎移植手術まで、腎臓泌尿器疾患に幅広くトータル的に対応できるセンターに生まれ変わります。透析センターは、これまでの23床から40床に増床し、腎移植についても、積極的に取り組んでまいります。

工事期間は、平成27年2月28日までを予定しております。完成すれば、様々な意味で地域の皆様のお役に立てるものと確信しております。工事期間中、駐車場が狭くなるなどご迷惑もおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

3階 外来化学療法室と日帰り手術部門です。化学療法室は、ゆとりある明るい環境に生まれ変わり、快適に治療を受けていただける空間を実現いたします。そして近年、都会で増加している日帰り手術は、今後、福井でも増えたと想定し、術前・術後ケアも充実させていきます。

4階 がん診療センターの病棟部門、緩和ケア病棟（20床）を新設します。2室以外個室で、ぬくもりを感じられる生活の場として、家にいるかのような幸福感を味わえる空間を目指します。

……

手づくりお手玉で、いきいきリハビリ

当院リハビリテーション科では、手を握る訓練、箸操作訓練、キャッチボール、洗濯物干し動作訓練など、様々な場面でお手玉を活用しています。「お手玉は昔を思い出させるなじみやすい道具であり、患者さんにも導入しやすい」と、山本作業療法士は言います。

ご紹介する色とりどりのお手玉は、当院に通院されている三原幸子さん（福市在住）から寄付されたものです。パッチワークが得意な三原さんは、「何かできないか?」と、リハビリで活



【箸操作訓練】お手玉は適度な重みがあるため、箸先の感覚が手に伝わりやすく、また様々な色や柄も視覚的に楽しめます

【洗濯物干し動作訓練】お手玉は洗濯バサミに挟みやすく、つまみにくい方も導入しやすいのが特徴。繰り返し練習することができるので自信にもなります

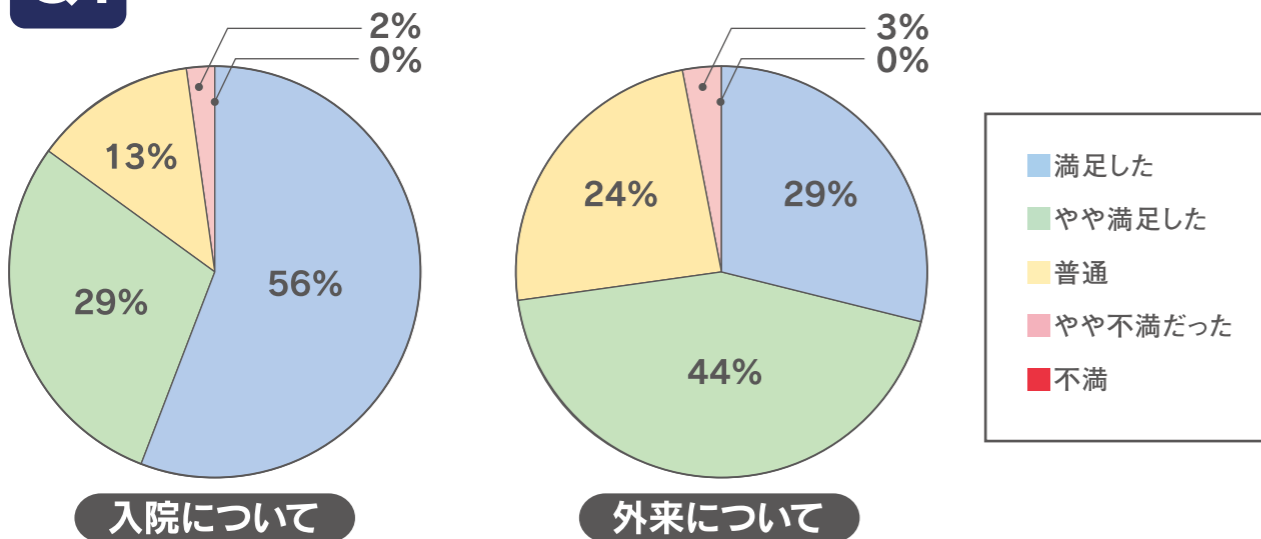
用できるお手玉をたくさん作ってくださいました。病院で使ってもらってものだからと、お手玉の中は小豆ではなく、プラスチックビーズを使用し、汚れても洗えるように配慮してくださっています。

三原さんはパッチワークをしていると病気が忘れられ、よい気持ちになるとおっしゃられていました。心のもったお手玉ありがとうございました。これからも活用させていただきます。

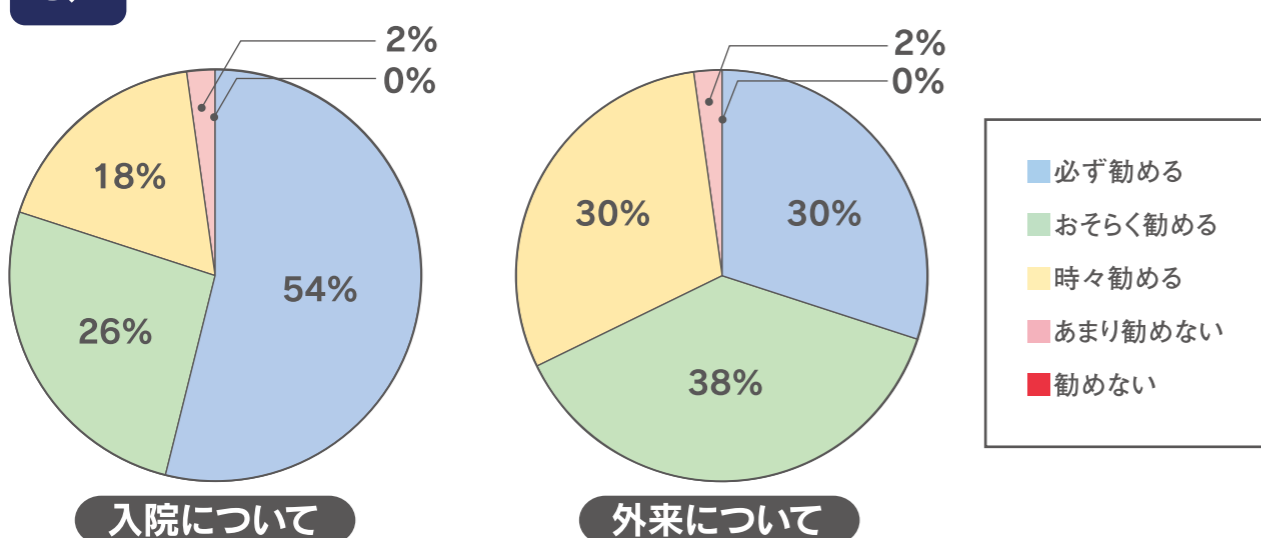
患者満足度調査の結果をご報告します

平成25年10月、患者満足度調査を実施いたしました。当院の総合的評価について、一部、ご報告いたします。

Q1 全体として当院に満足されましたか？



Q2 当院を家族や知人に勧めたいですか？



まとめ

患者満足度調査へのご協力、誠にありがとうございました。
入院・外来ともに7~8割以上の患者さんが、全体的に当院に満足されているとの結果になりました。この結果のほか、皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後さらなる患者サービス向上を図るための大切な資料とさせていただきます。

病院で学ぶ情報ネットワーク 小学5年生が社会科見学に

さる平成26年1月17日、福井市内の小学校5年生の52名が、当院に社会科見学に訪れました。

小学5年生の社会科では「社会を変えて、暮らしを良くする」がテーマで、「生活の改善」の学習をします。生活の中に普及している情報ネットワークの働きや、自分たちの生活との関わりについて考える学習の一環として、病院でどのように情報を活用しているかを調べるのが目的です。



病院内の自動精算機など、実際に情報が活用されている現場に見学に行きました

病院の情報処理を担当している、医療情報課職員が説明しました。病院での情報ネットワークの活用例として、電子カルテシステムの運用(受付、診察、検査、薬の処方、会計までの流れ)や、電子カルテシステム導入で、患者さんにどんな変化があったかなど、の話しに子どもたちは熱心に耳を傾けていました。

心臓リハビリテーションを知って、生活の質を上げていきましょう。

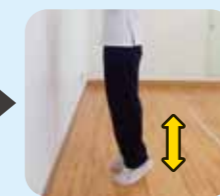
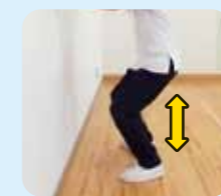
近年、心筋梗塞や狭心症、心不全などの心臓病に対する治療の発展により心臓病の生存率が高まり、入院期間も短期間で済むようになりました。しかし、治療により症状が改善したとしても、高血圧や高脂血症、糖尿病、肥満、喫煙などの危険因子を改善させない限り、再び心臓病を引き起こす可能性があります。このような心臓病の危険因子の改善と再発防止のために、心臓リハビリテーションは有効です。心臓リハビリテーションは、患者さん一人の状況に応じて運動を含めた生活習慣の見直しを図り、再発や発病予防を行い、生活の質を上げるためのプログラムです。

- こんな効果が！**
- 不整脈や動悸の軽減
 - LDL(悪玉)コレステロールの減少
 - HDL(善玉)コレステロールの増加
 - 中性脂肪の減少
 - 血圧降下
 - 動作時の息切れ軽減
 - 冠動脈の再狭窄予防
 - 血糖値低下
 - ストレス解消

リハビリテーションとは？

足の運動

静脈から心臓へ帰ってくる血液は、足の筋肉のポンプ作用により血液を送ります。足は第二の心臓、足の筋肉を鍛えることは、間接的に心臓を保護することになります。



有酸素運動

酸素を十分に取り入れて行う有酸素運動と呼ばれる、持続的な運動が安全で効果的と言われています。



⚠ 運動で気をつけたいこと ⚠

時間	大切なこと	こんな時は中止！
1回20～30分を週3～7回、3～6カ月続けてみましょう	<ul style="list-style-type: none"> ●安全な運動であること ●長く継続できる運動であること ●食事療法と禁煙も一緒に実行すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●胸の痛みや圧迫感を感じた時 ●動機や脈の乱れを感じた時 ●息切れや呼吸困難を感じた時 ●めまいや失神が起きた時 ●冷や汗や気分がすぐれない時

スタッフ紹介コーナー

診察に集中できる環境を支援・整備する 医療秘書・セクレタリー(医療秘書)

「優しい医療」への支援を心がけています。

当院の外來で診察を受けられた患者さんの中には、診察室の中や医師の隣で働いている事務職員をみかけたことがある方がいらっしゃると思います。この事務職員を「医師事務作業補助者」といい、その名のとおり医師の事務的な作業を補助することが主な役割です。

具体的には、電子カルテの入力の代行や検査結果の準備などの診察の支援のほか、診断書などの各種文書の作成の支援を行っています。また、検査のご案内やご説明など、直接患者さんと関わらせていただく場合もあります。その業務内容から、当院では医師事務作業補助者のことを「医療秘書・セクレタリー(Medical Secretary: 医療秘書)」、略称でMS(エムエス)と呼んでいます。



診療室での業務の様子



働いています。当院の基本方針の一つである「優しい医療」を行うために、医師の事務作業の負担を軽減し、医師が患者さんの診察に集中できるように支援を心がけています。医師との連携はもちろんです。看護師や他の専門職とも十分に協力し合い、患者さんにご満足・ご安心いただける診療の提供に努めています。

医療を支える現場をCHECK!

安全で快適な療養環境の提供 ボイラー室・電気室

ボイラー室と電気室は、照明・電気・空調・給排水・医療ガスなどの管理を24時間体制で行っています。患者さんが、快適に医療サービスを受けられるように温度や湿度の調整や、施設設備の破損や不具合などの修繕など行っています。

また、皆様のご協力により、ホールや廊下等の半灯による節電や、快適性を損なわないような空調の調整など、省エネルギー対策に取り組んでおります。さらに、災害時にも安全に病院の機能が働くように、発電機などの管理も行っております。

今後も、省エネルギーにご協力いただくとともに、ボイラーや電気設備の安全な運用と快適な療養環境を提供してまいります。



ボイラー室



電気室

栄養課
おすすめ!

簡単!貧血予防レシピ 〈高野豆腐のえび挟み煮〉

作り方

- ①高野豆腐はたっぷりのぬるま湯で戻し、手のひらに挟んで水気を絞り、二枚に剥く。
- ②ひじきは水で戻す。にんじん・筍はみじん切りにする。
- ③ブラックタイガーは殻・背ワタをとり、酒を振りかけて軽くもみ、包丁でたたき“えびのすり身”を作り、②と塩を加えてあわせておく。
- ④①の高野豆腐に片面に片栗粉をふり、③のえびすり身をはさみ、三角形に切る。
- ⑤大きめの鍋に、Aを加え、火にかけて沸騰したところへ④の高野豆腐を加え、弱火で20分ほど煮込む。
- ⑥下茹でした枝豆を加え、さっと煮て水溶き片栗粉でとろみを付け、皿に盛り付ける。



材料

●1人分

高野豆腐…………… 10g
ブラックタイガー…… 30g
塩…………… 0.2g
人参…………… 10g
筍…………… 10g
ひじき…………… 2g
片栗粉…………… 少々

A { 出し汁…………… 200ml
塩…………… 0.3g
醤油…………… 5ml

枝豆…………… 25g
水溶き片栗粉…………… 少々

エネルギー

●1人分

エネルギー…………… 158Kcal
たんぱく質…………… 14.5g
脂質…………… 5.0g
鉄…………… 3.1mg

栄養ポイントはココ!

昔ながらの保存食「乾物」は、保存がきき、栄養とうまみが凝縮されておいしくてお手頃価格と、よいことづくめです。貧血予防に効果があるとされる鉄は、高野豆腐やひじきに多く含まれています。乾物戻しのポイントは、ぬるま湯に10分ほど浸し、中まで十分に戻ったところで軽く絞ります。最近では、湯戻しなしで調理できる高野豆腐も市販されています。時間がない時に活用してみてください。

今回の表紙

赤十字の一員として 新たなスタートです!

4月1日、当院にフレッシュな職員が41名入職しました。入社式を終え、さっそく職員としての心得や接客研修などの全体研修を受けた新入職員たち。患者さんから信頼されるスタッフになれるよう、日々努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



+ 福井赤十字病院

理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代) FAX.0776-36-4133
E-mail webmaster@fukui-med.jrc.or.jp
http://www.fukui-med.jrc.or.jp/
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

ほやほや

“ほやほや”と納得できる情報、できたて“ほやほや”の情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。